



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2019年11月 2日(土) 10時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコイング会員／10名(午前のみ1名、午後のみ4名)、事務局／1名、 計／11名

● 午前

10月は金ヶ崎公園の活動が休止だったので、今日は2か月ぶりの活動になりました。11月に入り、朝の気温が下がったため、今月から活動開始を10時からとしました。午前中は7名のメンバーが集まり、会議室でのミーティングの後、公園内のコースを一巡して、昆虫を中心とした自然観察をしました。

今日の金ヶ崎公園は最高気温が20℃に届かず、観察できた昆虫は種類も数もあまり多くありませんでした。それでもチョウやコウチュウ、カメムシなどの昆虫のなかまが姿を見せてくれました。

● 午後

午後は、少しメンバーの入れ替わりがあり、10名となりました。今日はいつもの里山整備はせずに、今年の2月に伐倒されたナラ枯れ被害木のアベマキの木を割って、薪作りをしました。油圧式の薪割り機や斧を使って、2時間ほどでたくさんの薪ができました。この薪は、魚住小学校に運ばれ災害時避難所運営時の燃料として備蓄されます。

慣れない作業でしたが、定刻の15時に事故などもなく無事に活動を終え、帰路に就きました。

- 次回の活動は、12月7日(土)の予定です。気温はさらに低くなっていると思いますが、冬鳥の姿も色々観察できる時期です。朝10時に会議室にご集合ください。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



薪作り作業をするメンバー



油圧式薪割り機での作業



斧を使つての薪割り



でき上った薪を囲んで集合写真



今日の金ヶ崎公園の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は、一日中青空に広がる秋の好天でしたが、観察を開始した時は気温も低く、昆虫の姿はあまり確認できませんでした。それでも途中からは日差しに誘われたキタキチョウやヤマトシジミ、アカタテハなどのチョウのなかまや、トンボのなかまのリスアカネ、カメムシやバッタのなかまなどが姿を見せてくれました。また、シラホシハナムグリなどのコウチュウのなかまやオオスズメバチも観察できました。

キタキチョウ



ヤマトシジミ



アカタテハ



ウラギンシジミ(メス)



リスアカネ(オス)



リスアカネ(メス)



クサギカメムシ



ツチイナゴ



カネタタキのペア



シラホシハナムグリ



クロウリハムシ



オオスズメバチ



今日の金ヶ崎公園の自然観察日記(その2)

午後の薪割り作業中には、割った木の中からたくさんのヤマトタマムシの幼虫が出てきました。出てきた幼虫は、丸太に穴を明けてその中に放してやりました。来年の夏は、金ヶ崎公園のあちこちでヤマトタマムシが観察できるのではないかと期待されます。

また、今日はその他にも幼虫が朽ち木の中や草むらで見つかりましたが、何の幼虫がよく分かりませんでした。

割った薪から出てきたヤマトタマムシの幼虫



幼虫を丸太に戻すメンバー



オオナガコメツキの幼虫？



オオフタモンウバタマコメツキの幼虫？



種類不明の幼虫



野鳥では、冬鳥のジョウビタキやシメが姿を見せました。一方で夏鳥のメボソムシクイも確認できました。そのほかに、モズがメタセコイヤの梢で高鳴きをし、メジロがカキの実をついばんでいる姿も観察できました。

ジョウビタキ(メス)



シメ



メボソムシクイ



メタセコイヤの梢のモズ



カキの実をついばむメジロ



今日の金ヶ崎公園の自然観察日記(その3)

その他の生物では、アマガエルが姿を見せましたが、気温が低くほとんど動かずじっとしていました。

植物では、ホトギスの花がたくさん咲き、ツワブキも黄色い花をつけていました。また、アズキナシやミヤマガマズミが赤い実をつけ、フユノハナワラビが孢子葉を伸ばしていました。

アマガエル



ホトギスの花



黄色いツワブキの花



アズキナシの赤い実



ミヤマガマズミの実



フユノハナワラビの孢子葉

